

研修報告書

焼津市議会議長 様

議員氏名 秋山博子

令和4年8月20日～令和4年8月21日 下記のことについて、研修に参加したため、概要について報告いたします。

研修名	第14回全国政策研究集会 2022 in 静岡「コロナ危機、気候危機、ロシアのウクライナ侵略の中で、分権・自治・分散型社会を考える」
研修の目的	地方の課題に対して議会の議員はどう向き合うべきか、渦中にある当事者や最前線で活躍し提言を続ける専門家から学ぶ。 ●主催/全国政策研究集会 in 静岡実行委員会
所感	<p>研修は「リニア巨大プロジェクトと大井川の水、南アルプスの自然」と題した難波喬司さんの基調講演から始まった。冒頭、静岡県は事業の必要性については賛同していること、その上で「事業を行うにあたっては、事業計画である南アルプスの特殊性および大井川の水利用の特殊性を考慮して、事業の実施前に県民が安心できるレベルの環境影響評価を実施してほしい」と言っていること、そのためにJR東海との対話を進めている、と話された。県外からの参加議員にも分かるように、事業の概要や静岡県民が何を心配しているかなど、かみ砕いて話されたが、ではなぜこの対話に相当以上の時間がかかっているかの考察がおもしろかった。問題の本質は、まず、同じ基準に立っていないことにあると言う。私にはこの巨大すぎるプロジェクトが反時代的な遺物のように思えてならない。</p> <p>基調講演の2本目は、三浦まりさん（上智大学法学部教授）による「議会改革とジェンダー平等・民主主義」と題し、多様性に欠ける議会はなぜ問題なのか、議会ハラスメントはなぜ問題か、と刺激的な問題提起が続いた。そしてマジョリティが特権に気づくのは難しいという指摘には、私自身の気づきと反省も含めて、大きく頷きたい気持ちだった。</p> <p>分科会は①「少数派議員への懲罰と本来の地方議会のあり方を問う」②「AIを活用した分散型社会の構想と、リニアがめざす「メガポリス構想」」③「有機農業で変える地球の未来」④「気候危機～循環型社会を考える」の4本あり、私は①と③に参加した。①では全国の地方議会できている少数派議員に対する懲罰等の背景に何があるのか、自由な議論を数の力で排除しようとする動きが起きているのかなど、問題提起があった。これに関しては基調講演の三浦さん監修による「議会におけるいじめ・ハラスメント調査報告書～女性議員を増やす・支える・拡げる」には多数の事例報告があり問題の深刻さを思い知らされる。また③では静岡オーガニックウェブを主宰する吉田茂さんから、「みどりの食料システム戦略」の説明と、有機農業を拡大していくための地方自治体の役割についてお話いただいた。</p>
今後の参考となる事項	<p>(1) 合意形成には時代認識を共有し道筋を共有するために「対話する努力」が必要。</p> <p>(2) 議会の多様性、議員のための相談機関の設置を進めたい。</p>

* 上記に書ききれない場合は、適宜別紙を添付してください。

* 参考資料等がある場合は、添付してください。